

令和2年国立市議会第3回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第3回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症への対応ですが、7月29日及び8月25日に第5回、第6回国立市健康危機管理対策本部会議を開催し、主に現状の確認と今後の方向性についての協議、各部からの報告を行いました。

8月末に申請期限を迎える特別定額給付金は、約98%の方に給付を完了し、子育て世帯、ひとり親世帯、中小企業等への各種給付事業についても給付を順次行っております。そのほかにも、市内の児童扶養手当または児童育成手当受給世帯を対象とした飲食店で利用できる「ごはんチケット」の配布、妊婦の方を対象としたこども商品券の配布、2日間で完売となったプレミアム付商品券の販売、オンライン環境のない家庭を対象とした教育用タブレット型パソコン及びモバイルルーターの貸出など様々な支援を行ってまいりました。

健康危機管理対策本部会議に際し、国立市医師会の春日井会長からは、新型コロナウイルス感染症に関し市民の皆様や

職員に向けて、「国立市内における感染自体は現状ではコントロール下にあるが、世代間での感染を防ぐためにも引き続きできるだけ感染リスクの高い場所を避け、基本的な感染予防を徹底することが肝要ではないかと考えている」とのメッセージをいただきました。

今後も市民の皆様引き続き感染予防の対策を徹底して行うことをお願いしつつ、市の状況に応じた施策を行ってまいりたいと存じます。なお、詳細につきましては本定例会中の各常任委員会にそれぞれご報告させていただきます。

それでは、6月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

3月に発行いたしました「くにたち新書 創刊準備号」についてですが、現在、有償刊行物として販売をしており、6月下旬からは旧国立駅舎においても販売を開始いたしました。

今後もシティプロモーションの一環として市の魅力を効果的にPRし、市全体のイメージ向上及びシビックプライドの醸成を図ることを目的として、多くの皆様に手に取っていただけるようPRをしてまいります。

次に、平和施策についてですが、「原爆の日を忘れないための一行のコトバ」を募集し、全国から1,586作品の応募がございました。応募作品の中から48作品を実行委員会において選出し、8月1日から「ふつうの日になったのか原爆の日」展と題して、市内公共施設において展示いたしました。また、今年度は、旧国立駅舎において作品を映像化したものの展示を行いました。

全国の皆様からいただきました平和へのコトバを受け止め、今後の施策の充実を図ってまいります。

次に、行政管理部関係です。

特定事業主行動計画についてですが、8月13日に、これまでの行動計画である女性活躍推進アクションプランの評価について、市ホームページにて公表いたしました。次期計画については、引き続き庁内の策定委員会等で策定作業を進めており、早期の策定に向けて取り組んでまいります。

次に、健康福祉部関係です。

介護予防自主グループ向け感染症予防講座についてですが、7月13日、7月19日、8月14日の3日間において計6回開催いたしました。介護予防自主グループや老人クラブなど103団体

122名の参加がありました。感染症対策のポイントについて説明し、非接触型温度測定器、アルコール消毒液及び不織布マスクの配布を行いました。

次に、「いきいき百歳体操」についてですが、緊急事態宣言を受けて活動を自粛していた市内14グループが6月の終わりごろから順次地域で活動を再開するにあたり、保健師が会場に行き、体調チェックと熱中症予防も含めた「新しい生活様式」と体操を行う上での注意点などを助言してまいりました。体力を維持している方、やや落ちている方など状況に差が出ていることから、コロナ禍における健康づくり対策を今後もアウトリーチしながら検討してまいります。

次に、子ども家庭部関係です。

「子どもの食応援事業」についてですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出もままならず、行動を制限されストレスを抱える子どもたちが、楽しく、元気になってもらえるよう、また、週末等の食の確保を支援することを目的として、市内の子ども食堂実施団体や店舗8か所の協力を得て6月から開始いたしました。子ども食堂マップを作成して市立小・中学校全児童・生徒に配布するなど広く広報したこ

とにより、これまで以上に多くの子どもや親子連れが訪れ、6月には延べ280名程度、7月には延べ400名程度の利用がありました。利用者からも「子どもだけで来ても安心できる食堂があるのは嬉しい」、「子どもとおしゃべりしながらゆっくり食事ができてありがたい」といった声をいただきました。

次に、子どもの居場所@くにたちクイズ・スタンプラリーについてですが、新型コロナウイルス感染症の影響により夏休みが非常に短く、例年通り過ごすことのできない子どもたちが、楽しく元気に市内を広く動きまわってもらうことなどを目的として、本庁内の4か所を含む16の公共施設を巡るクイズ・スタンプラリーを、8月1日から16日にかけて実施いたしました。216名の児童と126名の保護者、計342名の参加をいただき、児童からは「楽しかった」、「またやりたい」、保護者からは「帰省や旅行も制限される中、親子で楽しむ企画を提供いただいて大変ありがたかった」、「子育て関連施設だけでなく、その他多くの市内公共施設について具体的に知ることができて、今後利用したいと思った」といった声をいただきました。

次に、生活環境部関係です。

Bizモデル型中小企業支援事業についてですが、国立市商工会と協議のうえ、センターの名称を「くにたちビジネスサポートセンター」、通称「Kuni-Biz」に決定いたしました。6月30日までセンター長の公募を行ったところ、全国から356件の応募があり、これまでに最終選考候補者5名を選定しました。9月6日に最終面接審査を実施し、センター長を決定する予定です。

次に、「市長と語るタウンミーティング」についてですが、8月17日に市民総合体育館第1・2会議室にて「国立市の商工業振興について」をテーマに開催いたしました。当日は25名の市民や商工業事業者の皆様、多くの議員の皆様にご参加いただきました。皆様からいただいた多くのご意見を市政に反映させてまいります。

次に、路上喫煙等禁止区域の指定についてですが、駅周辺でのたばこのポイ捨てや歩行喫煙を防止するため、7月1日よりJR国立駅北口、谷保駅、矢川駅周辺で路上喫煙等禁止区域を指定し、6月22日から7月10日までの3週間、職員により3駅周辺で広報、啓発活動を行いました。指定区域内の道路等の公共の場所では、喫煙することはできませんの

で、望まない受動喫煙を防止する観点からも市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

次に、都市整備部関係です。

旧国立駅舎についてですが、4月6日の開業後、これまで延べ10万人の方にご来場いただきました。8月には、戦後75年の節目ということもあり、市内の出版社やしょうがいしゃや自立支援団体が旧国立駅舎の広間で平和に関する展示イベントを開催いたしました。

今後も、また訪れたい、また利用したいとだけ思っている施設を目指してまいります。

次に、地元の農産物を直売する「くにたちマルシェ」の開催についてですが、6月20日と7月18日に、国立駅北口駅前広場で開催いたしました。梅雨の時期でしたが天気にも恵まれ、「くにたち野菜」や国立の農業の大切さを広める良い機会となりました。今後も定期的を開催してまいります。

次に、教育委員会関係です。

新給食センターの事業者募集についてですが、新給食センターの令和5年（2023年）2学期の開設へ向け、学識経験者・

保護者・学校関係者を委員とする「国立市立学校給食センター整備運営事業PFI事業者評価委員会」を設置いたしました。第1回の会議を7月17日に行い、要求水準書案と実施方針案について各委員それぞれの専門的見地からご意見をいただきました。そのうえで要求水準書案等を公表し、事業者・市民の皆様からご質問やご意見を募集しました。

なお、本定例会に関連する補正予算案を提案させていただいておりますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

終わりに、本定例会には、令和2年度国立市一般会計補正予算案等17議案を提出させていただいておりますが、人事案件1件、報告事項1件、令和元年度国立市一般会計及び各特別会計の決算認定5件につきましては、準備が整いしだい追加提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和2年（2020年）8月26日

国立市長 永見 理夫